

# 校長室だより



気仙沼市立津谷小学校

令和2年5月29日

NO.4

校長 白倉 彩枝子

命を大切にし 夢や志をもって たくましく生きる児童の育成

## 笑顔いっぱい！いよいよ始まる新たな学校生活！

6月1日(月)の本格的な学校再開に向けて、今週は新しい生活様式に慣れるための一週間となりました。

「慣らし」生活で、特に心配したのは、休み時間の校庭や昇降口、手洗い場等の密集を防ぐため上・下学年に分けたタイムテーブル(時程表)の実施でした。1時間目の始まりは、もちろん、休み時間や給食の始まりも15分ずれます。そのため、全校ノーチャイムとしました。これまでチャイムの音とともに行動してきた子どもたちです。ノーチャイムで本当に行動できるのか、授業の始まる時刻が遅れないか、却って子どもたちを混乱させるのではないかと…等々迷いもありましたが、いざ実行してみると、子どもたちは、時計を見て自主的に行動することができました。感心したのは、下学年の子どもたちも「5分前行動」をしていたことです。「時計を見て行動する」や「見通しをもって行動する」ということを、友達と声を掛け合いながら頑張っている姿に、コロナ禍をとおした子どもたちの成長を感じました。上・下学年に分けたタイムテーブルの実施は「当分の間」の実施としていますが、「ノーチャイム」は、継続して続けていきたいと考えています。

また、食事への対応に関しては、丁寧に指導できるように、お家の方々には大変ご苦勞をお掛けしましたが、一週間「弁当持参」にしました。食事中は、最も感染リスクが高いということで、新しい生活様式では「前を見て、お話をしないで食べる」…ということになっています。だまって食べるということは、少々味気なく思われますが、子どもたちは、「どうしてだまって食べるのか」をしっかり理解し、静かに食べていました。お話をしない分、お家の方が作ったお弁当に感謝し、味わいながら食べているようにも見えました。来週からは、いよいよ給食が始まりますが、この一週間で新しい生活様式が身に付いてきましたので、継続して取り組んでいきます。

このように、学校では、「自分の命」「友達の命」を守るために、新しい生活様式の意味を理解し頑張って実行している子どもたちですが、お家では…地域では…いかがでしょうか?学校ではできても、社会生活の中でできなければ十分ではありません。「手洗い」「マスクの着用」「毎日2回の検温」等、お家の方々の声掛けと励ましが必要です。本校の教育目標にある『命を大切に』の具現化が、正に、コロナ感染拡大防止のための一つ一つの行動につながっていきますので、どうぞよろしくをお願いします。

いよいよ始まる学校生活…232名が「笑顔いっぱい!」にスタートすることを願っています。

子どもたちが、元気に気持ちよく学校再開ができるようにと、「校庭の樹木の剪定」や「草刈り」「マスクの寄贈」「牛乳の提供」等々、保護者や地域の方々から、たくさん応援していただきました。「学校に飾ってください。」とクリスマスローズの花もいただき、職員玄関に長い間飾らせていただきました。可憐な花を見る度に、応援して下さるみなさんの温かい心に触れ、私たち教職員も心が癒やされました。こんな時だからこそ優しさが身に染みます。本当にありがとうございました。

